横井時冬 歴史学者。日本経済史の研究で先駆的業績あげるも、早世した。

よこいときふゆ

安政の大獄・1859 = 名古屋城内三ノ丸中小路で、名古屋藩士横井猪右衛門時相の三男に生まれる。
桜田門外変・1860 = 1歳：

8月18日政変 1863 = 4歳：父が死去。

明治維新・・1868 = **9歳**：

戊辰戦争終・1869 = 10歳：母が死去，のち歌人となる兄時逸に育てられる。
藩校明倫堂ほかで国学・漢学を学ぶが，

廃藩置県・・1871 = 12歳：廃藩置県後，
横井氏代々の地祖父江村に移住，

明治6年政変 1873 = 14歳：

愛知県養成学校上等師範科に移り，

三つの反乱・1876 = 17歳：卒業。

西南戦争・・1877 = **18歳**：

明治14年政変1881 = 22歳：

秩父事件・・1884 = 25歳：_上京して，早稲田専門学校に入学，
_小中村清矩・本居豊顕・栗田寛らから歴史上の諸制度・文物などに関し多分の示教を得る。

帝国大学始・1886 = **27歳**：_同校の法学部，

国民之友始・1887 = 28歳：_兼修英学科を卒業し，公証人資格を得る。

初の対等条約1888 = 29歳：_*法学部の卒業論文に基づく「大日本不動産法沿革史」を公刊。感銘を受けた矢野二郎が校長つとめる高等商業学校教員となり，同校に新設された内国商業取調係の業務を担当。帝国大学の書庫および史料編纂係・帝国博物館・内閣文庫・水戸彰考館などの所蔵文献資料，東京府庁へ引き継がれた旧幕府文書，旧諸藩主邸に残された記録文書などを渉猟するとともに，各方面の古老からの聴取調査を重ね，

帝国憲法発布1889 = 30歳：

帝国議会始・1890 = 31歳：助教授となる。

大本教・・・1892 = 33歳：_*その成果をまとめて「帝国商業史講義録」を刊行，高等商業学校の学生に使用させ，また先輩知友に配布して批評を求めた。

日清戦争始・1894 = 35歳：

日清戦争終・1895 = **36歳**：_教授に昇任。

子規句歌革新1898 = 39歳：_*同書を基礎にして，代表作「日本工業史」「日本商業史」を公刊。

高等工業学校・商業教員養成所の講師も兼ねた。

教科書疑獄・1902 = 43歳：_両著作により文学博士の学位を受けた。

日露戦争始・1904 = **45歳**：_東京専門学校が早稲田大学となり，商科設置に際し，天野為之とともに尽力，講師を兼務するが，

日露戦争終・1905 = 46歳：

満鉄発足・・1906 = 47歳：_病に倒れ，没した。